

## 令和5年度第1回社会教育委員会議概要

- 1 開催日時 令和6年3月19日（火） 午後2時～午後3時30分
- 2 開催場所 成田市役所 6階大会議室
- 3 出席者（委員） 日暮健委員長、佐々木英夫副委員長、小林元委員、  
鈴木隆英委員、多田初枝委員、齊藤好徳委員、  
多田美香委員  
※欠席 湯浅美智子委員、磯前勉委員、大徳正博委員  
（事務局） 関川教育長  
小川教育部部長、保立教育部参事  
野村生涯学習課長、大川社会教育係長、  
平山副主査、大場主事

### 4 議事

- (1) 委員長及び副委員長の選出について
- (2) 生涯学習課所管事業における課題について
- (3) その他

### 5 会議の内容

- (1) 委員長及び副委員長の選出について  
事務局から成田市社会教育委員条例の説明を行い、委員長及び副委員長を選出。委員長に日暮健委員、副委員長に佐々木英夫委員が選出された。
- (2) 生涯学習課所管事業における課題について  
事務局から生涯学習課が所管する「明治大学・成田社会人大学運営事業」の概要説明を行い、次年度、試験的に行うスポット受講等の運営方針について、意見を求めた。
- (3) その他  
社会教育関係団体の補助金について説明を行った。また、令和5年9月10日に行われた「印旛郡市社会教育振興大会」について結果報告を行った。

## 《発言要旨》

### (2) について

日暮委員：スポット受講や高校生の無料受講は、定員+ $\alpha$ という形になるのか。

事務局：定員に満たない場合に受講可能とすることを考えている。定員に達した場合は受け付けない。

鈴木委員：高校生の無料受講について、高校生は部活や授業があるなど学校のカリキュラムと時間が被ることが考えられるが、時間帯についての配慮はあるのか。なお、現在の高校生は社会に貢献するためにどのようなスキルが必要かをよく考えており、ボランティアに参加するなど、積極的な生徒が多いため、学生受けはよいと考えている。

事務局：明治大学・成田社会人大学では、2つの課程を午前と午後に分けて開講している。都合の良いほうに参加していただくように考えている。

小林委員：講義内容は明治大学に任せているのか。

事務局：明治大学・成田社会人大学のカリキュラム編成は、明治大学に委託している。ただ、令和6年度のカリキュラムは、令和5年度の修了式の際に実施したアンケート結果を参考に計画している。

小林委員：修了者にアンケートを行っても、意味がない。受講者以外の方にカリキュラム等についてのアンケートを行い、取り入れていかなければ、受講生が減っていく一方であると思われる。これまでに、受講生以外向けのアンケート等は行っているのか。

事務局：これまで受講者以外を対象にしたアンケート等は行っていなかった。貴重なご意見をいただいたので、実施する方向で考える。

多田(初)委員：若い年代を取り込もうとするのであれば、現在の平均年齢の高い受講生と同じカリキュラムで行うのではなく、対象を絞ってそれぞれの年代に向けたカリキュラムを計画するとよいのではないか。

また、年代を絞って少人数のほうが先生もやりやすいと思う。

事務局：生涯学習ということもあり、幅広い年代に向けた事業にしていきたいと考えている。また、ニーズを絞って少人数で行うことについては、講座数が多くなることで、明治大学の講師選定の負担が増加し、委託料にも大きく変更が生じるため、慎重に検討していきたい。

鈴木委員：現在は大学受験の評価方法として、総合型選抜がある。これは単に学力だけではなく、これまでの経験等を考慮し評価を行う方法である。このことから、明治大学・成田社会人大学の講義を受けた証明として、明治大学の

名前が入った受講証明等があれば、さらに高校生にとっては参加したい事業になるのではないかと思います。

事務局：受講証明ということだけであれば、明治大学に確認し、準備できるか検討する。

齊藤委員：称号の授与について、令和5年度は1名のみとなっているが、どのような条件で称号が与えられているのか。

事務局：一定の回数を修了したうえで、課程とは別に論文指導を受講し、論文を提出することで称号を得ることができる。このようにハードルが高く設定されているため、取得者が少なくなっている。

## 6 傍聴

0名